

# 26市町村 財政悪化 16年度経常収支比率



2017/10/31 11:00

©株式会社上毛新聞社

群馬県内市町村の2016年度普通会計決算概要が30日発表され、義務的経費の割合で財政の弾力性を示す経常収支比率（数値が高いほど硬直化）の平均値が93.1%と前年度から2.3ポイント悪化したことが分かった。

社会保障関係経費などの増加を背景に26市町村が悪化。割合が最も高かったのは公立碓氷病院への繰り出し金が増加した安中市で、100%を超える104.0%となり、経常的に支出される経費が一般的な財源で賄えていない状況を示した。

県内市町村の経常収支比率(%)	16年度	増減
安中	104.0	7.4
藤岡	98.0	6.0
玉村	98.0	0.8
伊勢崎	97.8	5.0
明和	96.3	1.6
沼田	96.3	▲0.7
沼林	95.8	1.6
館林	95.5	0.9
碓氷	95.1	0.8
みどり	94.6	4.6
みなかみ	94.6	5.1
千代田	94.2	4.0
吉岡	93.8	4.3
高崎	93.7	2.6
桐生	93.4	3.1
邑楽	92.8	2.8
下仁田	92.0	3.2
東吾妻	91.8	1.3
長野原	90.9	1.4
草津	90.9	▲1.5
渋川	89.4	2.7
板倉	87.7	▲0.1
富岡	87.5	3.7
甘楽	87.2	2.2
太田	86.4	▲3.5
昭和	86.3	4.5
高山	85.1	▲3.8
中之条	84.5	▲0.9
嬬恋	84.2	7.1
南牧	83.8	1.0
片品	82.4	0.5
▲は 神流	81.2	▲0.7
川場	77.3	1.8